

あがつま



『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。』

(ヨハネによる福音書 15章5節)

♪ 賛美歌を歌おう⑱ 『勝利をのぞみ』

賛美歌第二編 164番

この歌はアメリカの公民権運動（黒人の基本的人権を要求する運動）で象徴的に歌われていた『we shall overcome』を、岸本羊一（1931-1991）が邦訳して賛美歌第二編に収録されました。この歌の原形については幾つかの説があります。メソジスト牧師であったチャールズ・A・テインドリー（1851-1933）が書いた『I'll Overcome Someday』の転用、発展とする説が有力とされています。また、詩形や拍子が多岐にわたりますが、あまりに違っていることから現在では無理があると考えられています。別の説では『いざ歌え、いざ祝え』 讃美歌 108番（の律（SICILIAN MARINERS））のせ

て歌われていた、アフリカ系アメリカ人の霊歌が原形ではないかとも考えられています。言われてみると八小節目までのメロディーが似ているように聞こえてきます。

この歌は口伝で歌い継がれていき、アフリカ系アメリカ人公民権運動が高まる中、フォークシンガーのピート・シーガー（1919-2014）が広めたことになって、運動を象徴する歌となりました。また日本においてこの歌は、ベトナム戦争への反対戦歌として歌われたことで有名になりました。

“解放”を求めて歌われてきたこの歌を、神を賛美する讃美歌として歌うことの意義を考えさせられます。

稲垣真実